

第2章 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の開催結果

第2章から第5章では、本事業において取り組んだ内容とその成果について、個別に報告する。本章では、フードバンク活用促進セミナー&情報交換会について報告する。

1 開催概要

(1) 目的・目標

フードバンクの利用促進を図るため、食品関連事業者、福祉関係団体、地方公共団体等を対象としたフードバンク活用促進セミナー&情報交換会を開催した。フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の開催目標は次の通りである（図表1）。

図表1 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の目標

フードバンク活動に対する関係者の理解向上	
1	食品関連事業者（食品製造業・卸売業・小売業等）のフードバンク活動に対する理解、及びフードバンク活用意向の向上
2	福祉関係団体及び地方公共団体のフードバンク活動に対する理解向上

(2) プログラム

フードバンク活用促進セミナー&情報交換会のプログラムは、食品関連事業者の意見、調査研究結果、および検討会での議論をふまえて、次の通りとした（図表2）。

図表2 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会のプログラム（各回共通）

No.	時間	内容	報告者・詳細等
1	13:30-14:05	調査研究報告： 拡大する企業とフードバンクの連携	○報告者：公益財団法人流通経済研究所 ○フードバンク活動の実態についての調査研究結果
2	11:00-11:10	フードバンク活用事例紹介	○報告者：フードバンク活用企業実務家 ○取り組み開始までの経緯や、運用面など、事業者として知りたいフードバンク活用のポイントなどを紹介
	14:35-14:50	休憩	
3	14:50-16:30	情報交換会	○コーディネーター： 東京農業大学名誉教授 牛久保 明邦氏 ○食品関連事業者、フードバンク団体、社会福祉協議会、地方公共団体等で、フードバンクの活用に向けた意見交換等を実施。
4	16:30-17:00	フリータイム	参加者同士の直接の交流、名刺交換等

(3) パンフレット

パンフレットは次の通りである（図表 3）。参加対象者は食品関連企業、フードバンク活動団体、福祉関係団体、地方公共団体とし、6都市7回開催した。意見交換の円滑化のため、定員を設けた（40名）。

図表 3 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会 パンフレット

食品ロス削減・フードバンク活用事例紹介 フードバンク活用促進セミナー

全国6カ所(7回) 参加費無料
& 情報交換会

「まだ食べられる食品」を、メーカー・小売業等から引き取り、福祉施設など食品を必要とする施設や個人に譲渡を行う「フードバンク」活動が広がっています。企業の食品ロス削減にもつながる取組です。本セミナーでは企業とフードバンクの連携事例を紹介し、食品提供を検討中の企業に役立つ参加者による情報交換会を行います。

日時	開催地 (最寄駅)	会場
平成29年 11月 9日 (木)	東京 (市ヶ谷)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター バンケットホール9C 東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル9階
平成29年 11月 10日 (金)	仙台 (仙台)	TKPガーデンシティ仙台 ホール13B 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER13階
平成29年 11月 17日 (金)	東京 (市ヶ谷)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール3D ※会場名が変更になりました 東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル3階
平成29年 11月 30日 (木)	岡山 (岡山)	TKP岡山会議室 ホール2A 岡山県岡山市北区唐屋町1-6 岡山唐屋町ビル2階
平成29年 12月 8日 (金)	福岡 (博多)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 会議室4-A 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル4階
平成30年 1月 18日 (木)	名古屋 (名古屋)	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口 バンケットホール8A 愛知県名古屋市中村区樽町1-16 井門名古屋ビル8階
平成30年 1月 26日 (金)	大阪 (新大阪)	TKP新大阪駅前カンファレンスセンター ホール4A 大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-12 新大阪ラーニングスクエアビル4階

No.	時間	プログラム	担当講師等
1	13:30-14:05	拡大する企業とフードバンクの連携 調査報告	公益財団法人流通経済研究所
2	14:05-14:35	事例紹介	企業実務者(1~2社)
	(15分)	休憩	
3	14:50-16:30	情報交換会 議論セミナーに参加された「フードバンクに食品提供を行っている企業」、「食品提供を検討している企業」、「フードバンク団体」、「地方公共団体」等で同じテーブルを囲み、フードバンク活用促進に向けた情報交換・意見交換を行います。	コーディネーター 東京農業大学 名誉教授 牛久保 明邦 氏
4	16:30-17:00	フリータイム（交流、名刺交換等）	

定員 **40名**（同日午前開催の「フードバンク衛生管理講習会」参加者も含みません） ※定員になり次第締め切らせていただきます(先着順)
対象 **食品関連事業者、フードバンク活動団体、福祉関係団体、地方公共団体等**

主催: 公益財団法人 **流通経済研究所**
運営事務局: 一般社団法人日本有機資源協会

お申込み・お問い合わせについては
裏面をご覧ください

本講習会は平成29年度農林水産省補助事業フードバンク活動の推進事業の一環として開催するものです。

2 開催実績

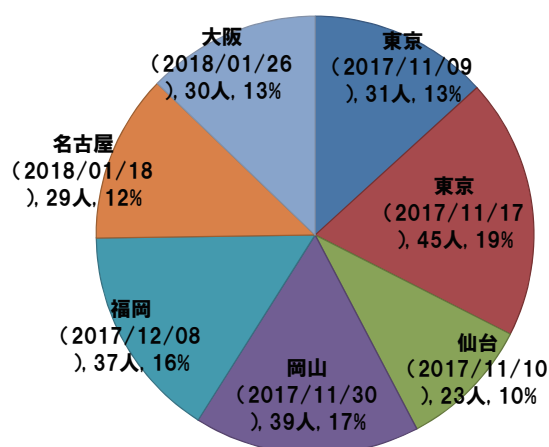
(1) 参加人数

概ね各会場定員 40 名前後となるよう調整しつつ、募集したその結果、7 会場で計 234 名（1 会場あたり 33.5 名）を動員した（図表 4、図表 5）。

図表 4 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会 開催実績

No.	開催時期	場所	事例紹介企業	参加人数
1	11月9日	東京 (1回目)	○山崎製パン株式会社(製造業) ○株式会社はくばく(製造業)	31名
2	11月10日	仙台	○山崎製パン株式会社(製造業) ○生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合 (コープフードバンク)(生協)	23名
3	11月17日	東京 (2回目)	○山崎製パン株式会社(製造業) ○株式会社はくばく(製造業)	45名
4	11月30日	岡山	○五洋食品産業株式会社(製造小売業) ○株式会社ハローズ(食品スーパー)	39名
5	12月8日	福岡	○五洋食品産業株式会社(製造小売業) ○株式会社ハローズ(食品スーパー)	37名
6	1月18日	名古屋	○山崎製パン株式会社(製造業) ○生活協同組合東海コープ事業連合(生協)	29名
7	1月26日	大阪	○山崎製パン株式会社(製造業) ○株式会社ハローズ(食品スーパー)	30名
合計				234名

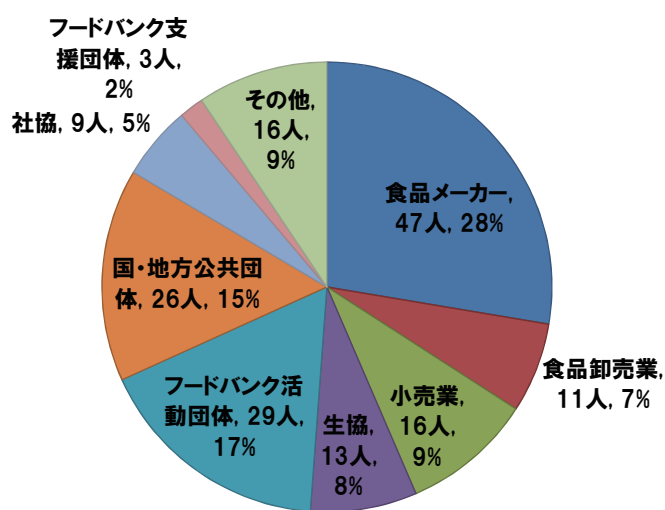
図表 5 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会 会場別の動員人数構成



(2) 参加者の業種構成

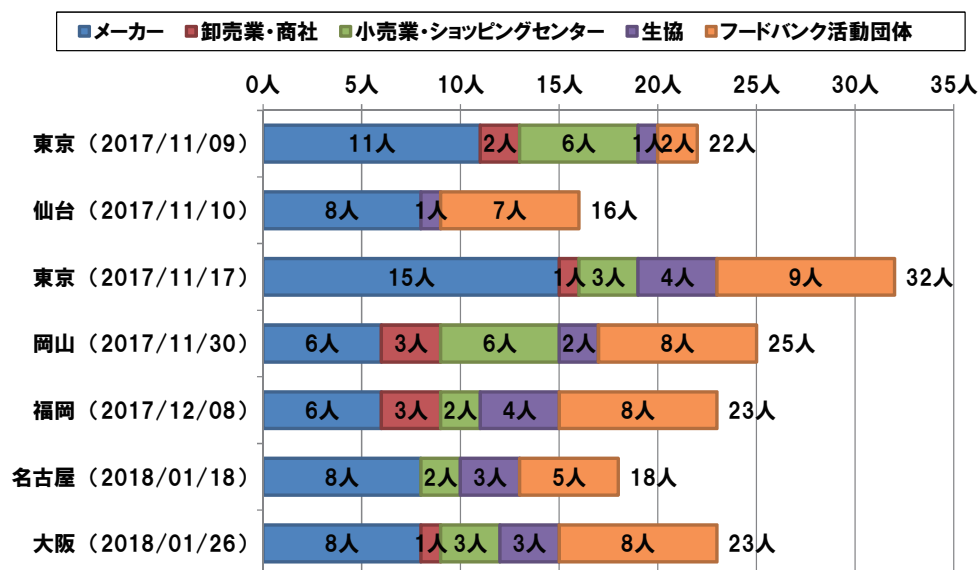
参加者の業種構成は、食品メーカー（27%）が最も多く、ついでフードバンク活動団体（20%）、国・地方公共団体（13%）の順であった（図表 6）。メーカーを除いた食品関連事業者（卸売業・商社、小売業・ショッピングセンター、生協）の参加者は 50 名（21%）であった。また、各会場・業種別の参加者数は図表 7 のとおりであった。

図表 6 参加者の業種構成（234）



※（ ）内の数字は参加者総数。

図表 7 会場・業種別の参加者数（食品関連事業者とフードバンク団体のみ抜粋）



(3) 会場の様子

当日の各地の会場の様子は図表 8 の通りである。

図表 8 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会 会場の様子



3 成果と課題

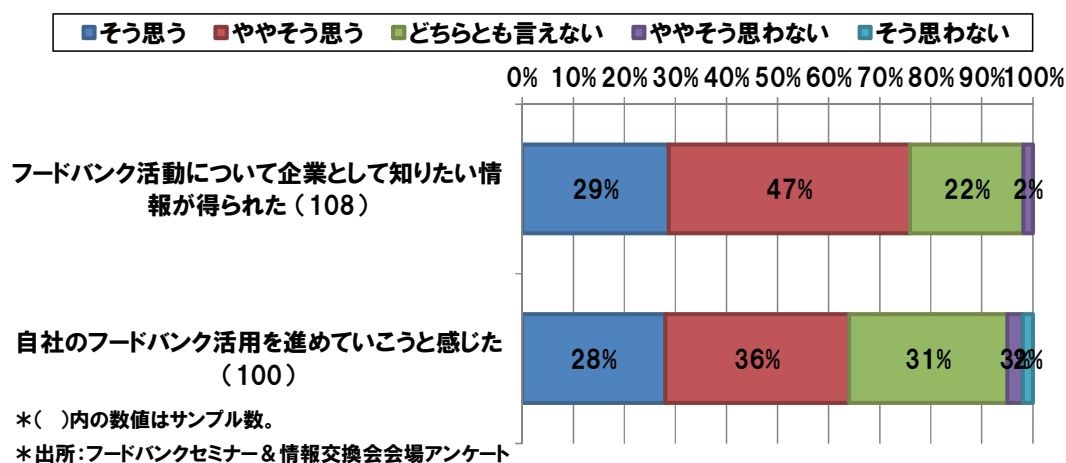
(1) 成果：フードバンク活動に対する理解、及びフードバンク活用意向の向上について

会場アンケートの回答等から、今後のフードバンク情報交換会&セミナーの運営面での課題を検討した。

① 食品関連事業者（食品製造業・卸売業・小売業等）のフードバンク活動に対する理解、及びフードバンク活用意向の向上

フードバンク活用促進セミナー&情報交換会では、会場アンケートを実施している。そのなかの食品関連事業者を対象とした「企業として知りたい情報が得られた」という設問に、76%が「そう思う」+「ややそう思う」と回答している。また、「自社のフードバンク活用を進めていこうと感じた」という設問には、64%が「そう思う」+「ややそう思う」と回答している（図表 9）。この集計結果から、参加食品関連事業者のフードバンク活動に対する理解、及びフードバンク活用意向の向上について一定の成果があったと評価できる。

図表 9 セミナー受講後のフードバンク活動の内容理解度、活用意向度
(設問対象：食品関連事業者のみ)



また、参加食品関連事業者の会場アンケートのフリーコメントには次の記載がある（図表 10）。これらのコメントから、定性的にも、参加食品関連事業者の一定の評価を得たと評価できる。

図表 10 食品関連事業者の会場アンケートでのフリーコメント（一部）

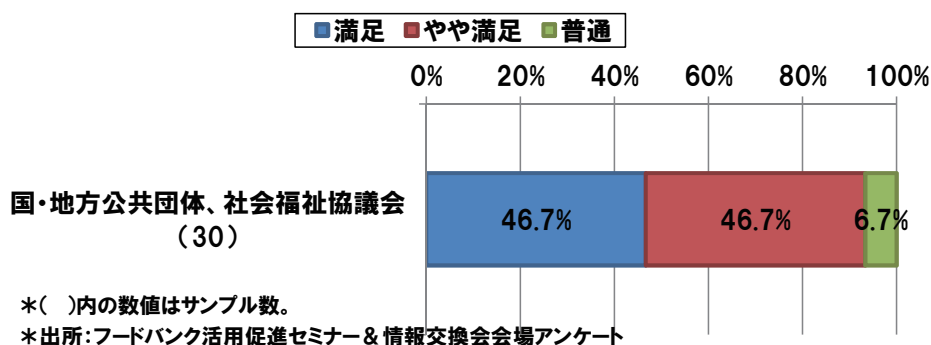
- ・ フードバンク団体についての理解が進んだ
- ・ フードバンクの実態、基礎的な情報、フードバンク活動の流れ、フードバンクの様々な運営体制、タイプがわかってよかった。
- ・ 社内で今回の内容を紹介していきたい。今後もこの様な機会が大切だと思う。

出所：フードバンク活用促進セミナー&情報交換会会場アンケート

② 福祉関係団体及び地方公共団体のフードバンク活動に対する理解向上

会場アンケート結果から、国・地方公共団体と社会福祉協議会の参加者（30名）回答を抽出し、フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の総合満足度を集計した。その結果、「満足」+「やや満足」の回答合計が93.4%であった。福祉関係団体及び地方公共団体のフードバンク活動に対する理解向上が進んだと考えられる。

図表 11 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の全体を通じた総合満足度
(国・地方公共団体、社会福祉協議会)



このように、フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の開催を通じて、フードバンク活動に対する理解、及びフードバンク活用意向の向上は進んだものと評価できる。

(2) 課題

会場アンケートの回答から、今後のフードバンク情報交換会&セミナーの課題を検討した。

① 動員面

開催地域別にみると、東京以外の開催地で、食品関連事業者の動員が十分に伸びなかった点は課題といえる。企業、とくにフードバンク活用を意思決定できる本社が東京に多いといった状況はあるものの、岡山など、フードバンク活用に積極的な食品関連事業者による積極的な呼びかけによって、地方でも一定の参加者を確保した会場もある。こうした工夫を他会場でも採り入れ、さらなる動員を目指したい。

業種別では食品関連事業者の内訳が製造業に偏っており、卸売業・小売業の動員が少ない。卸売業・小売業も少なからずフードバンク活用に関心がある。今後、卸売業・小売業の参加しやすい開催形態の検討も必要と考えられる。

② 内容

セミナーの主要ターゲット層である、食品製造業、卸売業、小売業、生協、外食・ホテル・旅館業、フードバンク団体のなかで、「全体を通じた総合満足度」を3（普通）以下

とした回答者グループのフリーコメントを確認した（図表 12）。

意見交換会と今後のフードバンク活用についての情報提供について、時間を長く取って欲しいといった要望や、もっと踏み込んだ情報交換を希望する意見があった。今後の対応の方向性を検討したので、今後生かしたい。

図表 12 フードバンク活用促進セミナー&情報交換会の満足度の低かった食品関連事業者・フードバンク団体の意見と対応の方向性（総対象者 10 名の意見を抜粋）

テーマ	コメント	今後の対応の方向性
意見交換会	フードバンクの方が多く出席されるとありがたい	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク団体への参加呼びかけ強化 ・フードバンク団体が参加しやすい開催場所・日時等の再検討
	企業側からの発言が少なかった	<ul style="list-style-type: none"> ・企業側への発言内容の事前整理依頼の実施 ・企業側が発言しやすい環境づくり(希望があれば、企業名を出さずに意見交換会に参加できる等の工夫)
	発言を求めるのであれば事前にそういう人材を要請いただければより良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の趣旨連絡徹底と、発言機会がある旨のより明示的な提示 ・参加者イメージのより明示的な提示
	準備が十分でなく、検討・意見交換が充実できず、せっかくの機会を生かしきれなかった。事前に少し情報を頂けると助かる	
今後のフードバンク活用についての情報提供のあり方	検討するかどうかを考える情報は得られた。更に具体的に考えるにはもっと踏み込んだ情報が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・単に食品関連事業者とフードバンク団体間のマッチングするための時間だけでなく、食品関連事業者同士が本音で意見交換し、よりフードバンク活用に向け深い情報を得ることができるような運営方式の検討

出所：フードバンク活用促進セミナー&情報交換会会場アンケート